

第3章 2024年度事業計画

概要	-----	42
1 活動計画	-----	42
2 会議・会合	-----	44
3 粉体工業展	-----	44
4 常置委員会	-----	45
5 分科会	-----	49
6 粉体工業技術センター	-----	55
7 技術情報交流懇話会	-----	57
8 共催・協賛及び後援行事	-----	57
9 刊行物	-----	58

第3章 2024年度事業計画

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

概要

わが国の景気は、2024年度前半はまだ停滞感が強い状態が残る一方で、後半は実質賃金の上昇、物価上昇の鈍化などに伴い個人消費や設備投資一特に自動車、半導体、デジタル関連の投資が緩やかに増加し、景況感は徐々に改善に向かうとみられています。しかしながら、国内外経済の不確実性が高く、景気下振れ要因も多いため、景気回復の遅れも懸念されています。

このような状況下、当協会では「2022～2024年度 第3期 中期運営計画」に基づき、引き続き以下の重点活動目標を掲げています。

1. 分科会活動の活性化
2. POWTEXの更なる進化
3. 広報の改革
4. 国際化の推進
5. 組織の強化

本年度は第3期中期運営計画の最終年度として、これらの目標を基本にした活動を行い、当協会の目的である「粉体に関する鉱工業技術開発および普及を通じて粉体関連工業の発展を図り、もってわが国経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与する」ことを目指しています。

1. 活動計画

1-1 調査・研究事業(分科会、分科会運営、技術)

分科会活動は協会活動の中核であり、各分科会は粉体技術の発展と普及を目指すために、今年度も産学官が協力して産業界に貢献できる活動を推進していきます。新体制(20分科会)のもと、分科会運営委員会は、分科会が将来に向かって順調に発展できるように、組織および運営の充実化を支援します。

技術委員会では、AI技術利用委員会は今年設立4年目となり、今後も「粉体プロセスとデータサイエンス」をテーマに議論を継続し、収集された情報は、POWTEXの「AI技術利用セミナー」で公開していきます。また、委員を対象に開催しているAIソフトウェア実習講座を会員企業へ浸透させ、AI技術の企業内活用や人材育成のための機会提供を推進します。

1-2 広報・普及事業(総務、「粉体技術」誌編集、産学官連携)

(1) 技術情報の発信

「粉体技術」誌は、粉体関連技術の情報発信誌として、様々な特集・企画記事などを通じて、会員に対して技術啓発、広報の役割を果たしていきます。また、一般購読者に対しても協会事業および活動の認知を図っていきます。

協会ホームページについては、継続的に改善を行っていきます。また、メールマガジンは、本体のコンテンツ、デザインなどの刷新を進めます。

(2) 産学官連携

POWTEX2024の併催行事として、大学や公的研究機関と連携し、粉体工学入門セミナー、粉体機器ガイドンス、最新情報フォーラム、PX シーズ賞受賞記念特別講演会、テクノマルシェを開催する予定としています。また、粉体に関する若手研究者の研究奨励、関連企業への情報提供および産学連携の基盤づくりを目的に、「アカデミックコーナー」を設置します。さらに「技術相談コーナー」を開設し、大学や公的研究機関の研究者が企業からの技術相談に応じます。

産学技術交流推進部門では、常時ホームページ上で協会内外からの粉体技術に関する相談を受付けており、企業からの問合せを大学や研究機関へ橋渡しする役目を果たしていきます。

(3) 粉体技術総覧 2024/2025 の発行

POWTEX2024 に合わせて、粉体関連機器や技術に関するガイドブック「粉体技術総覧 2024/2025」に新製品紹介のページを加え発行し、展示会場にて無料で配布します。キーワードで製品やメーカーを検索できるWEB版も引き続き開設します。

1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

2024 年度は、粉体入門セミナー、粉体技術者養成講座などを中心に以下の講座、セミナーの開催を予定しています。

- ・粉体入門セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)
- ・粉体技術者養成講座(7 講座)
- ・粉じん爆発・火災安全研修(初級/基礎編)
- ・粉じん爆発・火災安全研修(中級/技術編)

1-4 規格・標準化事業(標準粉体、規格、粉じん爆発)

・標準粉体委員会

JIS Z 8901 改定小委員会にて 4 部構成の JIS 原案骨子を作成します。またガラスビーズ(MBP1-10,GBL)の供給体制に関する検討を引き続き行います。JIS 試験用粉体(JIS Z 8901)の粒子径分布測定規格を将来的に沈降法からレーザー回折法に置き換えることが可能かどうか、その際の問題点などを検討する。

・規格委員会

協会規格および JIS の定期見直しは引き続き行います。3 件の継続案件は、JIS 原案を規格協会へ提出します。新規 3 件の JIS 原案作成委員会を別途立ち上げます。規格・標準化の広報・啓発活動として、新規制定された規格などを紹介するセミナーを開催します。

・粒子特性評価委員会

3 件の規格開発プロジェクトを経済産業省委託事業として契約締結し、粒子特性評価の測定解析手順の確定に向けた ISO 規格開発活動を行います。

・ふるい委員会

試験用ふるいおよび工業用ふるいを用いて粒子をふるい分け検査測定する手順の確定に向けた ISO 規格開発活動を行います。

・集じん技術委員会

3 件の規格開発プロジェクトを経済産業省委託事業として契約締結し、バグフィルターろ過材や空気およびその他ガス清浄装置の試験方法確定に向けた ISO 規格開発活動を行います。

・粉じん爆発委員会

粉じん爆発・火災安全研修(初級/基礎編)および(中級/技術編)を実施します。また、POWTEX2024 の併催行事である粉じん爆発情報セミナーを実施します。

1-5 海外交流事業(海外交流)

韓国の KOREA CHEM や A-Powder Tech、中国・上海の IPB には、相互協力契約に基づいて交換ブースの出展や幹部派遣、入会促進や POWTEX2024 の宣伝を行います。海外からの招聘を含む(日本、中国、欧州)海外情報セミナーを POWTEX2024 にて開催します。

1-6 展示会事業

POWTEX2024 を、11 月 27 日(水)～29 日(金)に東京ビッグサイトで開催します。注目度の高いテーマにスポットを当てた「最新情報フォーラム」、「粉体工学入門セミナー」や「粉体機器ガイダンス」をはじめとした各種セミナーや、出展社による「製品技術説明会」などの多彩な行事を予定し、ビジネスチャンスが生まれる展示会を目指しています。また、POWTEX2023 に引き続きオンライン展示会を 11 月 11 日(月)～12 月 26 日(木)まで併設し、リアルとオンラインによるハイブリッド展示会として開催します。

1-7 標準粉体製造頒布事業(製造事業部門)

今期の売上は前年度の実績を踏まえ、コロナ禍前の水準を計画しています。各産業界の発展に貢献できるよう、客先サービス向上、業務効率化を図るため新しい受発注販売システムを導入します。

1-8 会員共益事業(技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成)

以下の活動を通じて、会員相互の親睦と技術情報交流、人脈形成などの促進を図ります。

- ・技術情報交流懇話会：火曜会(東京4回)、水曜会(名古屋3回)、木曜会(大阪3回)、金曜会(福岡2回・広島1回)を開催します。
- ・推薦審査委員会：分科会功労賞、委員会・部門功労賞、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者賞の審査・推薦および個人会員・会友の入会審査を行います。また、実情に合わせて規程を見直します。
- ・人材育成委員会：「若手のつどい」を3回開催、POWTEX2024に併せ、学生ツアーの企画・運営を行います。

2. 会議・会合

2.1 第43回定時総会

開催日時：2024年5月28日(火) 13:00

場 所：東京/東京ガーデンパレス

2.2 理事会

	開催日時		開催場所
第1回	2024年5月16日(木)	14:00	大阪/ANAクラウンプラザホテル大阪
第2回	2024年5月28日(火)	14:30	東京/東京ガーデンパレス
第3回	2024年8月1日(木)	14:00	東京/東京ガーデンパレス
第4回	2024年11月20日(水)	12:30	京都/ホテルグランヴィア京都
第5回	2025年3月13日(木)	14:00	大阪/ANAクラウンプラザホテル大阪

2.3 諮問会議

	開催日時		開催場所
第1回	2024年4月18日(木)	13:00	東京/種苗会館会議室
第2回	2024年7月9日(火)	14:00	東京/東京ガーデンパレス
第3回	2024年10月23日(水)	13:00	名古屋/名鉄グランドホテル
第4回	2025年2月20日(木)	14:00	東京/種苗会館会議室

2.4 定例会合

	開催日時	開催場所
秋期定例会合	2024年11月20日(水) 15:00	京都/ホテルグランヴィア京都

2.5 分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議

分科会連絡会議	2025年1月24日(金) 13:00	名古屋/名鉄グランドホテル
委員会・部門連絡会議	2025年1月25日(土) 9:30	名古屋/名鉄グランドホテル

3. 粉体工業展

3.1 POWTEX®2024(国際粉体工業展東京)の開催

11月27日(水)から11月29日(金)までの3日間、POWTEX®2024が開催される。東京ビッグサイト会場に通算25回目となり、今回は、多くの併催イベントを企画し、さらに魅力的な展示会づくりを目指しつつ綿密に準備を進めている。また、展示会場でのリアル展示会とともに、前回の大阪に引き続き東京展でもオンライン展示会を会期前から会期後も含め開催することとしている。

1. 開催概要

・リアル展

会期：2024年11月27日(水)～29日(金) 9:30～17:00

会場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

・オンライン展

開催期間：2024年11月11日(月)9:30～2024年12月26日(木)17:00

2. 出展対象技術・製品

粉粒体製造機器／粉粒体計測機器／研究室用機器・ラボ機／受託加工・受託計測／シミュレーション・ソフト／粉体材料／書籍・JIS規格・標準粉体

【特別展示ゾーン】

特別展示ゾーンとして「先端材料ゾーン」と「粉体シミュレーションゾーン」を設置する。

【先端材料ゾーン】

ナノマテリアル／電池材料／医薬品材料／食品用材料／複合材料／材料製造法

【粉体シミュレーションゾーン】

ソフトウェア／シミュレーション用物性取得／検証実験用機器

3. 多彩な併催行事(一部予定含む)

ユーザ企業からのニーズが高い『粉』に関する併催企画を多数開催する。

【粉体工学入門セミナー】

粉体工学の基礎を勉強し始めるための準備編として、初心者でも分かりやすく解説する。

【粉体機器ガイダンス】

機器基本原理の解説と、企業による機器選定に役立つ初心者向けのセミナーを開催する。

【最新情報フォーラム】

会期中3日間、注目度の高いテーマにスポットを当てたフォーラムを開催する。

【その他】

「海外情報セミナー」、「粉じん爆発情報セミナー」、「AI技術利用セミナー」、「粒子径計測の基礎」など、多彩な併催行事を予定している。

4. 常置委員会

4.1 総務委員会 (角井寿雄委員長、六車嘉貢副委員長)

委員会開催予定:3回

第3期中期運営計画に基づき以下を行う。

1) 広報改革

1)-1.メールマガジンの刷新について検討する。

・外部業者の活用、配信先に分科会参加者(企業)を加える

1)-2.協会ホームページの改善について検討すると共に、引き続き更新・メンテナンスを行う。

2) 会員増強と退会防止への取組

2)-1 会員増強に向け、「POWTEX2024」非会員出展社に対し入会勧誘を行う。

2)-2 退会防止に向けて、昨年実施したアンケート結果をまとめて、退会防止策を検討する。

2)-3 新入会員オリエンテーション実施への協力を継続する。

3) 協会活性化

3)-1 昨年に引き続き協会活性化(例えば、女性や若手会員の協会事業への参加など)を議論すると共に、より具体的なアクションが可能かどうか検討する。

4.2 組織強化委員会 (牧野尚夫委員長、角井寿雄副委員長)

委員会は必要に応じ開催

1) 新入会員オリエンテーションの実施

2024年4月9日(東京)、12月12日(大阪)で開催予定であり、総務委員会、分科会運営委員会と連携して準備を進める。

2) 名簿管理システムの検討

協会の運営に不可欠な名簿管理システム更新の検討を、総務委員会とも連携して進める。

3) 総務委員会との課題共有

協会会員および産業界に協会活動を理解して頂くとともに積極的に参画してもらうために、HP等の広報手段の継続的な改善に向けた検討など、総務委員会とともに幅広い議論を行う。

4.3 技術委員会（牧野尚夫委員長）

委員会は必要に応じて開催する。

- 1) AI 技術利用委員会の活動を支援する。
- 2) 委員会、分科会に共通する技術的問題が生じた場合は適宜対応していく。

4.3.1 AI 技術利用委員会（酒井幹夫委員長、島田憲成、山本浩充各副委員長）

委員会開催予定:2回、小委員会開催予定:3回

大学教員および企業の研究者の講演などを通して最新のデータサイエンスを用いたものづくりに関する知見を得る。本委員会がデータサイエンスに関するチュートリアル(講義)を主催して、協会にデータサイエンスに関する技術を浸透させ、会員企業の技術力の向上に資する。

4.4 「粉体技術」編集委員会（加納純也委員長、根本源太郎、佐藤浩二各副委員長）

委員会開催予定:本委員会 4回、小委員会 12回

本誌の内容の一般読者への効果的な発信方法など、情報発信のより一層の充実を目指していく。2023 年度新たに 2 件の連載企画をスタートした。特に新入門講座は好評を得ており、引き続き読者のニーズにこたえる企画として編集に取り組む。また、本誌読者の多様なニーズに対応するために、コラムなどの一般記事に関しても充実させ、魅力ある粉体技術誌の編集を進めていく。

月号	特集予定(タイトルは仮題)
4月号	協会を支える分科会活動
5月号	粉体シミュレーション特集
6月号	見えないけれど、そこにある粉の力
7月号	電池と粉体技術
8月号	晶析分科会特集
9月号	省エネルギー社会に向けた高効率エネルギーシステム
10月号	粉体に関わる興味深い現象
11月号	未来の食卓
12月号	分級ふるい分け分科会特集
1月号	技術者教育への取り組み
2月号	植物から学ぶ材料設計
3月号	東京粉工展特集

4.5 推薦審査委員会（山田幸良委員長、森康維副委員長）

委員会開催予定:3回

活動:2023年度に準じ、年3回の会合で、各賞の表彰規定に則って、審査業務を実施していく。

4.6 粉体工業展委員会（牧野尚夫委員長、槇野利光、三宅康雄各副委員長）

委員会開催予定:東京/大阪粉体工業展委員会の開催時に併せ必要に応じて開催する。

- 1)POWTEX®2024ー第 25 回国際粉体工業展東京の概要(詳細は東京粉体工業展委員会より報告)
- 2)海外交流委員会と協力し、世界の主要粉体工業展において広報・宣伝を行う。
KOREA CHEM(韓国・ソウル)(2024.4.23-26)、IPB(中国・上海)(2024.7.17-19)

4.6.1 東京粉体工業展委員会（槇野利光委員長、芦澤直太郎、森山秀男、村上徹各副委員長）

委員会開催:本委員会4回、正副委員長会議:本会議に合わせ開催

広報(出展来場促進)小委員会2回、ハイブリッド小委員会/会場運営実行小委員会を各2回、粉体技術総覧小委員会2回、併催行事小委員会1回

2024年11月27日～29日に開催予定のPOWTEX®2024開催に向け、各小委員会を開催し詳細な計画をたて、広報活動及び出展・来場促進活動に注力し成功を目指しつつ活動する。

4.6.2 大阪粉体工業展委員会(三宅康雄委員長、池田憲俊、貝島健太各副委員長)

委員会開催予定:本委員会3～4回、小委員会(必要に応じて出展促進委員会等を開催する)

POWTEX®2023 の反省を踏まえ、次回「POWTEX®2025」の開催に向けての準備を行う。

主たる課題は以下のとおり。

- 1) ハイブリッド方式、オンライン展示会の改善
- 2) PX ステーションの改善
- 3) 出展促進
- 4) 来場者増加
- 5) 併催行事数とスケジュールの検討
- 6) 効果的な広報の検討
- 7) 運営面の改善
- 8) その他、反省会での指摘事項の検討、改善

4.7 分科会運営委員会（奥山喜久夫委員長、鈴木康夫副委員長）

委員会開催予定:本委員会4回、分科会相談会1回、小委員会は必要に応じ開催

- 1)分科会活動が将来に向かって順調に発展するように議論を進める。分科会開催や、人事体制の改善が必要な場合は、分科会と協力して、組織および運営の充実化を進める。
- 2)将来必要となる粉体技術などについて議論し、必要に応じ新しい分科会の立ち上げや統合などについて議論する。
- 3)分科会開催はオンサイト開催を軸とし、webやハイブリッド開催なども検討し参加者の便宜をはかる。また会員同士の交流に有効な、分科会に併せた交流会開催も推進する。

4.8 海外交流委員会（田辺大二委員長、國枝純副委員長）

委員会開催予定:本委員会2回

[海外交流事業]相互協力契約を行う予定である

- 1) KOREA CHEM 2024 (2024年4月23日-26日)
- 2) IPB 2024 (2024年7月17日-19日日)
- 3) A-Powder Tech 2024 (2024年8月28日-30日)

[国内事業]

- 1) 委員会を2回開催予定。
- 2) 海外情報セミナー企画開催 (POWTEX® 2024での併催行事)
- 3)ACHEMA海外分科会(小委員会)への参画

4.9 人材育成委員会（荻田容宏委員長、槇野利光、菅原尚也各副委員長）

委員会開催予定:4回(委員会および「若手のつどい」)

- 1)若手のつどい:過去の参加者から希望の多い工場、施設の見学に主眼を置く
- 2)POWTEX®2024 国際粉体工業展東京 2024 で「学生ツアー・交流会」を実施

4.10 標準粉体委員会（後藤邦彰委員長、高橋かより副委員長）

委員会開催予定:本委員会2回、小委員会4回

- 1)MBP 1-10 (JIS Z 8900-1)粒子
- 2)JIS Z 8901 の改正準備作業
- 3)JIS 試験用粉体 (JIS Z 8901)の粒子径分布測定

4.11 規格委員会（松山達委員長、高橋かより副委員長）

委員会開催予定:2回

- 1) SAP、JIS、ISO の現状把握、協会規格や JIS の定期見直しの対応、JIS 原案作成検討、支援をする。
- 2) 協会 HP や「粉体技術」誌に新規制定規格などを紹介する。
- 3) セミナーの開催

JIS Z 8844:2019「微小粒子の破壊強度及び変形強度の測定方法」についてのセミナー

POWTEX®2024 において、新規発行される ISO、JIS に合わせてテーマを選定しセミナーを開催予定。
(併催行事として「粒子径計測入門」セミナーを同時開催)

4.11.1 粒子特性評価委員会（桜井博委員長、伊藤和輝副委員長）

委員会開催予定:委員会 2回

2023年度に引き続き、ISO/TC 24/SC 4におけるISO規格文書作成等に取り組む。

4.11.2 ふるい委員会（松山達委員長）

委員会開催予定:委員会 1回

2023年度に引き続き、ISO/TC 24/SC 8におけるISO規格文書作成等に取り組む。

・SC8会議があれば、出席を計画。

・上記SC8会議以降の適当な時期に委員会を1回開催し、対応を協議する。

4.11.3 集じん技術委員会（福井国博委員長、森下あや子副委員長）

委員会開催予定:委員会 2回、正副委員長会議 4回

WG-Bにおいて、23742についてはISの発行段階(60.60)を目標とする。また、ろ布の静電特性試験方法については国際会議で事前説明を行い、提案用規格作成段階(20.00)登録完了を目指す。

WG-Cにおいて、16313-1についてはDIS校正綴りを幹事国に送付(50.20)までの進展を目標とする。

4.11.4 JIS 原案作成委員会

4.11.4-1 2023年度 JIS 原案作成委員会 1(福井国博委員長)

委員会開催予定:委員会 1回、小委員会 1回

-Z 8910:2007「集じん用ろ布の試験方法 - ろ布耐久性測定用のサンプリング方法及び試験方法」-

分科会における翻訳および確認作業、委員会における審議を通して、JIS Z 8910の改正作業を引続き行う。

4.11.4-2 2023年度 JIS 原案作成委員会 2(水野耕平委員長)

-Z 8890:2017「粉体の粒子特性評価 - 用語」-

委員会開催予定:委員会 1回、小委員会 1回

JIS 公募制度の区分Cに応募しており2024年5月には原案を完成しJSA提出を目標とする。

4.11.4-3 2023年度 JIS 原案作成委員会 3(伊藤和輝委員長)

-ISO 20804:2022 Determination of the specific surface area of porous and particulate systems by small-angle X-ray scattering (SAXS) JIS 制定-

委員会開催予定:委員会 2回、小委員会 3回

小角 X 線散乱法(SAXS)による多孔質体および微粒子系の比表面積の決定について規定する JIS を制定する作業を引続き行う。

4.11.4-4 2024年度 JIS 原案作成委員会 1(綾信博委員長)

-JIS Z 8832:2010「粒子径分布測定方法-電気的検知帯法」の改正-

委員会開催予定:委員会 3回、小委員会 5回

本 JIS は、電気的検知帯法を使用して、電解質溶液に分散する粒子の粒子径分布を測定する方法について規定する。

4.11.4-5 2024年度 JIS 原案作成委員会 2(武田真一委員長)

-JIS Z 8820-1:2002「液相重力沈降法による粒子径分布測定方法-第1部:測定的一般原理及び指針」の改正-

委員会開催予定:委員会 1回、小委員会 2回

本 JIS は、ストークス則に基づき、液相中を重力沈降する粒子状物質、多くの場合、 $0.5\mu\text{m}$ ~ $100\mu\text{m}$ の範囲にある粒子状物質の粒子径分布測定方法について規定する。

4.11.4-6 2024年度 JIS 原案作成委員会 3(藤正督委員長)

-JIS Z 8830:2013「ガス吸着による粉体(固体)の比表面積測定方法」の改正

委員会開催予定:委員会 2回、小委員会 4回

本 JIS は、この規格は、ブルナウアー、エメット及びテラーの方法(BET法)に基づき、物理吸着したガスの

量を測定することによって、粉体状(例えば、ナノ粉体)又は細孔をもつ固体の外部及び内部の全ての比表面積を決定する方法について規定する。

4.12 粉じん爆発委員会 (山隈瑞樹委員長、土橋律、太田潔各副委員長)

委員会開催予定:3回

1)安全教育:

・粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】

2024年9月に実施予定。

・粉じん爆発・火災安全研修【中級/技術編】

2025年3月に実施予定。

2)最新の規制、規格動向及び技術情報の把握:

WG-A:粉じん危険場所分類検討

WG-B:金属関係のNFPA規格484の翻訳を進めて勉強会で紹介する。

3)POWTEX®2024 国際粉体工業展東京2024:

併催行事として「粉じん爆発情報セミナー」を計画

4)分科会等との連携:

各单位操作工程を専門的に検討している分科会との連携は有意義であるので要請に応じて実施する。

5. 分科会

5.1 粉体ハンドリング分科会

(松坂修二・田中敏嗣各コーディネータ、河府賢治副コーディネータ、海老原裕之・岸本武志各代表幹事、鍋内浩副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.7	未定	未定(3/12 合同幹事会で協議)
2	2024.10	〃	〃
3	2024.11	東京	粉体機器ガイドランス(粉工展)
4	2025.3	未定	未定(3/12 合同幹事会で協議)

幹事会、小委員会開催予定 幹事会 計:4回

中期の活動テーマ

- 1) 粉体ハンドリングをマテリアルハンドリングの範疇と捉え、取り組みの範囲を拡大する。
- 2) 粉体技術者養成講座および粉体技術専門講座の優先度を考えて企画・実践する。
- 3) 最近の粉体ハンドリング産業の技術力の変遷を把握し、将来展望を見据えた基盤技術や解決困難な技術的課題を抽出し、研究や勉強の場を企画する。

単年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 輸送テーマを含め、ニーズにマッチした年4回の対面型分科会本会合の開催を目指す。
- 2) 書籍『粉粒体ハンドリング技術』の販売促進を行う。
- 3) 併合後の分科会運営が軌道に乗った後、養成講座・専門講座開催に向けた検討に着手する。

6.2 粉砕分科会

(内藤牧男コーディネータ、加納純也副コーディネータ、石井利博代表幹事、湯蓋一博副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.6.27~6.28	和歌山	花王(株)の見学および講演会
2	2025.2.26~2.27	台湾	日本・台湾ワークショップ

幹事会開催予定 計:5回

中期の活動テーマ

- 1) 粉砕の重要技術、最新技術、ユーザの潜在的ニーズを分析して、これらを分科会のテーマとして取り上げ、メーカーとユーザとの交流を促進する充実した本会合を目指す。
- 2) 粉砕に関する産業界・学界の交流を通じて、粉砕技術に関する最新の情報を参加者に提供する。
- 3) 粉体技術者養成講座などを通じて、粉砕技術の教育、普及啓発に努める。
- 4) 粉砕技術に関する技術者再教育や国際交流のための企画を検討し実施する。

単年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 分科会は年2回開催する。
- 2) 共催行事として、5月に(一社)粉体工学会主催の「粉体材料設計研究会」を行い、産学の交流を図る。また、WasteEng2024(8月20～23日、宮城県)に協賛し、産学の国際的な交流を行う。
- 3) 粉体技術者養成講座は、受講者を「若手からベテランまで」と拡大し、粉碎実習と合わせ、粉碎現象やそのプロセスに対する理解を深めるための機会とし、さらに充実・発展させる。
- 4) 国際交流は日本の粉体技術の海外への普及啓発、および国外ユーザとの交流という観点からも重要である。国際交流の場として、第2回分科会を台北(台湾)にて開催する予定である。

5.3 分級ふるい分け分科会

(松山達コーディネータ、所千晴副コーディネータ、佐藤一彦代表幹事、吉田友一、直原健司各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	6～7月	関東地区	未定(見学と講演会)
2	未定	未定	講座

幹事会開催予定 幹事会 計3回

中期の活動テーマ

- 1) 粉体材料の高機能化に向けた分離制御技術
- 2) 粉粒体処理プロセス効率化のための分離技術
- 3) 分級ふるい分け装置のトラブルとその防止策
- 4) 分級ふるい分けに関する規格と標準化

単年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 粉粒体取り扱い及び資源リサイクル関係の開催(1回)
- 2) ふるい網に関する規格、標準化の情報収集
- 3) 技術講座の開催に伴う内容検討
- 4) 幹事増員の検討

6.4 乾燥分科会

(立元雄治コーディネータ、中川究也副コーディネータ、飯田晃弘代表幹事、佐藤澄人副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.7月	茨城	乾燥技術関連の見学会、講演会
2	2025年	(未定)	乾燥技術、装置関連の講演会

幹事会予定:4回

中期活動テーマ

食品、医薬、化学、環境、バイオマス、廃棄物など、できるだけ興味を持てるテーマでの工場見学会、講演会を実施する。また海外の乾燥シンポジウムなどからの最新の乾燥技術・研究動向の報告講演会を開催し、国内への情報発信を継続実施していく。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 第1回分科会 見学・講演会
- 2) 第2回分科会 海外シンポジウム、乾燥技術、装置関連の講演会を予定
- 3) 粉体技術者養成講座【乾燥】を開催する。
- 4) 粉体工業展東京 粉体機器ガイダンス【乾燥】参加

5.5 集じん分科会

(福井国博コーディネータ、野田直希副コーディネータ、中根幹夫代表幹事、中根隆一副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.7月	三重県	設備見学会と講演会
2	未定	未定	未定
3	未定	未定	未定

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 分科会活動は、各幹事の役割分担を明確にし、本会合を2～3回/年程度開催、粉体技術者養成講座の充実、専門講座の数年に一回程度開催などを基本とし、一層の活性化を図る。

- 2)集じん技術利用領域の拡大や様々な装置との合理的な組み合わせ等を目指し、他分科会との合同開催や他の学・協会との共催行事等を積極的に推進する。また、ユーザからの要望を積極的に調査する。
- 3)集じん技術委員会の国際規格化推進への支援を継続推進する。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 分科会活動は、中期活動テーマに基づき、本会合を2～3回/年開催を企画する。その中で他の分科会との合同開催、粉体工学会・研究会との共同開催などを積極的に行うとともに、集じん機ユーザの要望調査を行う。
- 2) 粉体技術者養成講座は本年度も運営を継続する。開催場所は関東から関西圏内にて検討し、広く集じん技術を伝えることを可能とする。
- 3) 集じん技術委員会への支援を例年通り継続する。

5.6 混合・成形分科会

(藤正督コーディネータ、森隆昌副コーディネータ、朝日正三代表幹事、藤井淳副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.6.21	茨城	漢方薬の製造と混合・成形
2	2024.11 頃	大阪	打錠の基礎・講演と見学(仮)

幹事会開催予定: 幹事会:4 回

中期活動テーマ

- 1)粉体の混合・混練・成形に係わる『温故知新』と『最新技術』をテーマに、最先端事業への取り組みや技術の伝承などについての情報提供の場となるような、工場見学会や講演会を計画する。
- 2)IoT や AI を活用した自動化システムが、混合・混練・成形の最先端技術にどう反映されているか注目していく。
- 3)粉体技術者養成講座を通じた教育にも注力し、粉体技術専門講座の開催も目指す。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1)年 2 回の本会合の開催を目標にし、工場見学も合わせて行えるよう、受入れ企業を継続的にリサーチする。
- 2)粉体技術者養成講座は引き続き開催する。今年度は初開催となる「成形」をテーマとする。
- 3)専門講座の開催に向けて準備を進める。

5.7 造粒分科会

(村瀬和典コーディネータ、武井孝・仲村英也各副コーディネータ、小泉一郎代表幹事、石井隆司副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.9 頃	関西	先端技術の研究施設見学
2	2025.3	関東	技術討論会

幹事会開催予定:5 回

中期活動テーマ

- 1)会員が業務上で取得したい情報の提供。ユーザーニーズとそれに答えるメーカーの技術・開発の努力を有効に繋げる。
- 2)造粒による有用な複合材料の創生アプリケーションと様々な最新、ユニークな造粒技術、造粒装置の紹介。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 造粒をテーマにした施設見学会。最先端である、全固体電池や連続造粒を行っている大学研究室を計画
- 2) 造粒をテーマにした技術討論会。テーマ、未定。

5.8 計装測定分科会

(後藤邦彰コーディネータ、武居昌宏副コーディネータ、池田英幸代表幹事、稲山良介・篠崎陽子各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.9	未定	未定
2	2024.11.27	東京	粉体機器ガイドンス POWTEX
3	2025.2	未定	計装技術講演会

幹事会開催予定:4 回

中期活動テーマ

ナノ粒子・バイオ粒子・エアロゾル計測、AI、IoT に対応するプロセス計測を含む新しい粉体測定技術の探求と信頼性向

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 粉体技術者養成講座の分科会行事としてのオンライン開催
- 2) 合同分科会の開催
- 3) 正副コーディネータの交代。森先生に名誉コーディネータに就任頂き、後藤先生にコーディネータ、新たに武居先生に副コーディネータに就任頂く

5.9 湿式プロセス分科会

(岩田政司コーディネータ、菰田悦之副コーディネータ、浅見圭一代表幹事、佐藤誠・宮本圭介各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024. 7.31	神奈川県	晶析技術と濾過技術の融合
2	2024.10.11	神戸	(仮)湿式プロセスとバイオ技術の融合

幹事会開催予定: 2-4 回

中期活動テーマ

- 1) 各種プロセスにおける固液分離
 - ・液移動に種々の場の力を用いた固液分離・吸着・イオン交換・ゲル化などと複合させた固液分離・難ろ過性スラリーの固液分離・固液分離過程のモニタリング・沈降助剤などを含む複合凝集剤
- 2) 微粒子の凝集・分散状態の制御とその応用
 - ・様々な媒体中における微粒子分散過程の理解・粒子分散液内部構造のレオロジー解析・粒子分散状態の相補的解析手法の構築・スラリー塗工プロセスによる薄膜構造形成・各種電池電極の構造制御

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 上記活動テーマに即した分科会を開催予定
- 2) 2024/7 は、晶析と濾過に関するテーマで晶析分科会と合同開催を予定
- 3) 2024/10 は、バイオ粒子プロセス分科会と排水処理関係で合同分科会を開催予定

5.10 クリーン化分科会

(並木則和コーディネータ、鍵直樹副コーディネータ、谷英明代表幹事、神谷松雄副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	8 月頃	未定	未定
2	11 月頃	未定	未定

幹事会開催予定: 3 回

中期活動テーマ

- 1) 対象を安心、安全、快適な生活空間を確保するためのクリーン化技術(PM2.5 や病原性粒子対策など)に拡大した活動を継続
- 2) 他の分科会や学会・協会との連携強化
- 3) これまでの高度なクリーン空間の創出で構築されたクリーン化技術の伝承

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 中期計画に則った、見学会および講演会を企画して実施する
- 2) クリーン化の基本技術を伝承できる場を企画する
- 3) 代表幹事を交代し、新しい運営メンバーでの活動に移行

5.11 環境エネルギー・流動化分科会

(成瀬一郎コーディネータ、小林信介副コーディネータ、山本昌幸代表幹事、細田博之・長洋光各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024. 6	北海道	木質バイオマス発電所等見学
2	2024. 9	東京	講演会(流動化・エネルギー・環境)
3	2024 秋	東北地方	廃棄物系バイオマス有効利用施設等見学

幹事会開催予定: 幹事会 4 回

中期活動テーマ

- 1) 流動層という本分科会の基幹技術の更なる応用・展開事例をリサーチし、発信していく。
- 2) 再生可能エネルギー(木質バイオマス、廃棄物系バイオマス)利用の最先端技術を紹介していく。
- 3) 新しい環境づくり、新しい社会の創生への筋道を「環境エネルギー」というキーワードと共に、本分科会活動を通して学習し、発信していく。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 再生可能エネルギー(木質バイオマス、廃棄物系バイオマス)利用の最先端技術の学習
- 2) 粉体技術としての流動層適用事例の見学または講演
- 3) 環境・エネルギー関連の講演会または見学会

5.12 晶析分科会

(白川善幸コーディネータ、正岡功士各副コーディネータ、伊藤雅章代表幹事、金子雅哉副代表幹事)

回	予定時期	予定地域	主テーマ
1	2024.7	小田原	湿式プロセス分科会との合同分科会(講演会+見学会)
2	2024.12	淡路島	液中粒子の分散状態制御(講演会+見学会)
3	2025.3	つくば	持続可能な社会の実現を目指す触媒技術(講演会+見学会)

幹事会開催予定:5回

中期活動テーマ

- 1) 国際的な最先端の技術情報の発信
- 2) 他の分科会、研究グループとの技術交流
- 3) 見学会および専門講座の再開

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 講演会+見学会
- 2) 液中粒子の分散状態制御
- 3) 持続可能な社会の実現を目指す触媒技術

5.13 微粒子ナノテクノロジー分科会

(渡邊哲コーディネータ、飯島志行副コーディネータ、鳥居経芳代表幹事、池田純子副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.6.11	ドイツ	IPNF 合同分科会
2	2024.10	Web(仮)	微粒子ハンドリングに関する基礎的講座
3	2024.11	仙台	最新技術動向講演(見学含む)

幹事会開催予定:4回

中期活動テーマ

- 1) 産業レベルでの微粒子・ナノ粒子の有効な利用技術、プロセス技術、量産技術及び応用例などについての最新情報の収集とその発信。
- 2) 微粒子・ナノ粒子の安全性への対応についての情報収集。
- 3) 技術発展が著しい中国や欧州など海外での微粒子・ナノ粒子関連技術の情報収集とその発信
- 4) 若手技術者の知識向上を主眼とした微粒子・ナノ粒子に関する基礎的情報の発信

今年度の事業計画の概要と運営方針

2024年度は、昨年開催できなかった教育的側面を持つセミナーを開催することを1つ主眼とする。また、議論に上っている名称の変更等も含めた、中期的な活動方針の見直しも念頭においている。

- 1) 微粒子、ナノテク分野の初心者や若手のレベルアップを目指した基礎的なWEBセミナー開催
- 2) 利用や応用に関する最新技術に関し、見学も含めたリアル講演会開催

5.14 電池製造技術分科会

(妹尾博コーディネータ、堤敦司副コーディネータ、堀越勝代表幹事、木村正人、根本滝郎各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.06	東京	全固体電池、電池材料
2	2024.10	関西	EV用電池、リサイクル技術
3	2025.02	名古屋	次世代電池、次世代材料

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 全固体電池などの次世代EV用LIB電池の開発状況と粉体技術についての情報収集。
- 2) ポストLIB電池として実用化を目指す革新的二次電池と粉体技術についての情報収集。
- 3) 商用車や船舶、飛行機などの電動化に使われる水素・燃料電池とその粉体技術についての情報収集。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 全固体電池の材料技術と製造技術に関する情報収集。

- 2)次世代電池の開発状況と新材料技術に関する情報収集。
- 3)電池リサイクル技術の開発状況と法的規制などに関する情報収集。

5.15 リサイクル技術分科会

(大矢仁史コーディネータ、外川健一副コーディネータ、齊藤陽代表幹事、水野裕太副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.7	東京	脱炭素(CO2 排出削減)技術 講演会
2	2024.10	未定	廃プラスチックリサイクル施設 見学・講演会
3	2025.2	未定	AI・新技術を用いたリサイクル 見学・講演会

幹事会開催予定:6回

中期活動テーマ

- 1) 次世代リサイクル技術(特に発展性の高いEV等の自動車)への展開
- 2) AI, IoTを含めた廃棄物処理に関する新規技術のピックアップ
- 3) 低炭素社会を実現するリサイクル技術(廃プラスチック関連 他)

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 脱炭素(CO2 排出削減)に関する現状と新技術(次世代・革新技術)について学ぶ
- 2) 廃プラスチックリサイクルについて現行プラントでの実情と今後展開について学ぶ
- 3) 今後ニーズや市場規模が拡大しそうな新規リサイクルテーマ・技術を模索・取得し、情報展開を図る

5.16 食品粉体技術分科会

(羽倉義雄コーディネータ、五月女格副コーディネータ、二宮隆志代表幹事、西村元樹副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.7.10	三重	東芝産業機器システム(株)三重事業所、最先端のモータ技術に係る講演等、第1回集じん分科会との合同分科会
2	2024.12.6	広島	食品メーカーの見学等計画 *金曜会参加

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1)食品製造の基本となる『安全・安心』をメインテーマとする。
- 2)『最先端の生産技術』、『新たな調理・生産方式』、『ロボット、AI、IoT等のデジタル技術活用』、『食品の衛生管理』、『食品および容器包装の廃棄とリサイクル等』、などをサブテーマとする。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 中期活動テーマに沿って、食品工場の見学の他講演会や他分科会との共同開催などを通じ、食品に関わる新しい情報、技術を習得できる活動を行う。
- 2) 単位操作技術についての「基礎」と「最新動向」だけではなく「ロボット、AI、IoT等のデジタル技術活用」など、食品メーカーに有意義な情報を提供していく。なお、本分科会のテーマは食品に関わる重要技術を取扱っているため、協会のみでなく食品関連他団体とも連携して幅広く参加者を勧誘していきたい。

5.17 粒子加工技術分科会

(竹内洋文コーディネータ、山本浩充副コーディネータ、浅井直親代表幹事、伊藤有一、根本源太郎各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.6月	ドイツ/フランクフルトメッセ	ACHEMA 視察、IPNF2024
2	2024.7月	千葉	ファンケル様にて見学講演会
3	2024.10月	富山	シミック CMO 様にて見学講演会
4	2025.2月	千葉	岩城製薬様にて見学講演会

幹事会開催予定:4回

中期活動テーマ

製剤における粒子加工技術の向上

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 粒子加工技術及び製剤などに関する講演会・・・年3回
- 2) 製剤と粒子設計シンポジウムを粉体工学会の部会とともに共催し、各種粒子関連技術の交流を促進する

5.18 粉体シミュレーション技術利用分科会

(酒井幹夫コーディネータ、石神徹副コーディネータ、島田憲成代表幹事、小澤和三副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.5	兵庫	粉体プロセスのシミュレーションベースデジタルツインの実現
2	2024.6	ドイツ	IPNF2024 開催（粒子加工技術、微粒子ナノテクノロジー、粉体シミュレーション技術利用分科会）
3	2024.11	東京	粉体シミュレーション出展社プレゼンテーション

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 大学、ベンダー企業、ユーザ企業の交流を通じたより実践的なシミュレーション技術の開発。
- 2) 粉体シミュレーションの技術者育成。
- 3) 最新のデータサイエンスやデジタル技術を組み合わせたより効果的なシミュレーションの活用方法の研究。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) シミュレーション技術の産業利用促進を目的とした教育や講習会に取り組む。
- 2) 他分科会や学会、協会との連携に取り組み、シミュレーションの普及拡大を図る。
- 3) AI やデジタル技術とシミュレーションを組み合わせることで、新しい付加価値の創出を図る。

5.19 粒子積層技術分科会

(山村方人コーディネータ、瀬戸章文副コーディネータ、中尾修也代表幹事、中村圭太郎副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.07.25	名古屋	成形技術の最新動向
2	2024.10	東京	
3	2025.03	大阪	

幹事会開催予定:2回

中期活動テーマ

- 1) 湿式および乾式粒子積層プロセス技術の応用例と課題に関する最新情報の収集と発信
- 2) 粒子積層技術の工学的体系化を指向した情報収集とその発信
- 3) 粒子積層状態及び積層過程の評価、粒子集積(配列制御)に関する情報収集と発信

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 湿式および乾式粒子積層プロセス技術の応用例と最新情報の収集と見学会、講演会の開催
- 2) 粒子積層技術の工学的体系化を指向した情報収集及び講演会の開催
- 3) 粒子積層状態及び積層過程の評価、粒子集積(配列制御)に関する情報収集と講演会の開催

5.20 バイオ粒子プロセス分科会

(野村俊之コーディネータ、萩崇副コーディネータ、片山和彦代表幹事、秋山聡副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2024.6	東京	微生物汚染の防止技術
2	2024.10	神戸	(仮) バイオを利用した排水処理

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 医薬・食品等の製造プロセスから資源循環、環境浄化、クリーン化まで幅広い分野において、微生物やウイルスなどの生体や生体関連物質を「バイオ粒子」と捉えた新しい側面からの関連する課題や技術に関する最新情報の収集と発信
- 2) バイオ粒子プロセス技術の微粒子工学的体系化

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 第1回分科会 ライオン(株) 平井研究所にて見学会・講演会を開催
- 2) 第2回分科会 湿式プロセス分科会との合同で(株)神戸酒心館での見学会・講演会を開催

6. 粉体工業技術センター（牧野尚夫センター長、前田孝善副センター長）

6.1 教育部門（松坂修二マネージャー、白川善幸・藤井淳各副マネージャー）

委員会開催予定:本委員会1回

粉体入門セミナーは、参加者の基礎知識が大きく異なるので、講義の理解度や参加者の意見を受講者アンケート

ートで確認し、工夫していく。基本的には、初心者の参加を考慮して計画する。粉体技術者養成講座は、開催時の状況を判断して、より良い講座となるよう努めていく。粉体技術専門講座は、毎年2、3回の開催が望ましく、各分科会に協力をお願いする。アドホックセミナー、経営講座、特別講座は、案が出された時点で対応していく。

講座名とタイトル		開催日	開催場所	募集人数
粉体入門セミナーⅠ(第71回)		2024.6.5～6	大阪/KITENA 新大阪	70
粉体入門セミナーⅡ(第72回)		2024.6.18～19	大阪/KITENA 新大阪	70
粉体入門セミナーⅢ(第73回)		2024.7.10～11	大阪/KITENA 新大阪	70
粉体技術者養成講座	成形	2024.9.13	岐阜/名古屋工業大学 先進セラミックス研究センター	15
	粉砕	2024.10.17～18	東京/(株)奈良機械製作所	15
	粒子加工	2024.10.30～31	大阪/(株)ダルトン	8
	乾燥	2024.10～11月	大川原化工機(株)	未定
	分級	2024.11月上旬	(株)徳寿工作所	8
	集じん	2024.12.4～5	名古屋/ウインクあいち	12
	ろ過	2025.1月下旬～2月初旬	大阪/関西金網(株)	12
粉じん爆発・火災安全研修 [初級・基礎編]		2024.9月頃	未定	未定
粉じん爆発・火災安全研修 [中級・技術編]		2025.3月頃	未定	未定

6.2 製造事業部門 (前田孝善マネジャー)

委員会開催予定: 必要に応じ開催する

- 1) 標準粉体受発注新システム導入
- 2) 2024年度予算計画

協会事業の一環として運営されているJIS試験用粉体・APPIE標準粉体の頒布事業が、各産業界の発展に貢献できるよう今後も業務効率化を図りながら、事業を進めていく。

収支計画: (単位: 千円)

	2024年度予算
売上(千円)	90,000
(売上前年度実績比%)	105.9
事業費(支出)	69,570
収支差	20,430
(収支差前年度実績比%)	97.6

6.3 産学技術交流推進部門 (後藤邦彰マネジャー、三宅康雄副マネジャー)

委員会開催予定: 3回

- 1) 技術相談
引き続き、講演会、セミナー、展示会でDM配布をする。
技術相談15件をめざす。
- 2) APPIE産学官連携フェア
国際粉体工業展大阪の併催行事で、隔年開催のため、2024年度は開催なし。
- 3) テクノマルシェ～シーズとニーズの交流会～

講座名	開催日	講演場所
テクノマルシェ～シーズとニーズの交流会～	2024.11.28	東京/東京ビッグサイト

POWTEX®2024の併催行事として、開催を予定。

- 4) 粉体技術セミナー
・PXシーズ賞受賞記念特別講演会

「技術シーズ賞受賞記念講演会」を「PX シーズ賞受賞記念特別講演会」に改題し、POWTEX®2024 の併催行事として2024.11.28に開催を予定。

7. 技術情報交流懇話会

7.1 火曜日：東京にて4回開催

4月9日、7月9日、10月8日、2025年1月14日

7.2 水曜日：名古屋にて3回開催

6月19日、10月23日、2025年2月12日

7.3 木曜日：大阪にて2回開催

5月16日、9月12日、12月12日

7.4 金曜日：福岡にて2回、広島で1回開催

7月19日、12月6日(広島)、2025年3月7日

8. 共催・協賛及び後援行事

8.1 共催

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第58回技術討論会	2024.7.25 ～7.26	名古屋/名古屋工業大学	(一社)粉体工学会
第41回エアロゾル科学・技術研究討論会	2024.8.20 ～8.22	東京/工学院大学	日本エアロゾル学会

8.2 協賛

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第41回空気清浄とコンタミネーションコントロール	2024.4.16 ～4.17	東京/早稲田大学国際会議場	(公社)日本空気清浄協会
FOOMA JAPAN2024	2024.6.4 ～6.7	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本食品機械工業会
色材セミナー	2024.6.6	オンライン開催	(一社)色材協会 関西支部
2024年度RGBシンポジウム	2024.6.6	東京/東京大学弥生キャンパス	(一社)日本エネルギー学会
みる・はかる・未来へつなぐ科学機器展 東海サイエンスパーク2024	2024.6.13 ～6.15	名古屋/名古屋国際会議場	東海科学機器協会 (一社)愛知県軽量連合会 ㈱産業経済新聞社
界面コロイドラーニング	(東京) 2024.6.13 ～6.14 (大阪) 2024.6.27 ～6.28	(東京)同志社大学東京オフィス (大阪)大阪産業創造館	日本化学会コロイドおよび界面化学部会
2024年度第1回講演会	2024.6.21	オンライン開催	(一社)日本塗装技術協会
第58回技術討論会	2024.7.25 ～7.26	名古屋/名古屋工業大学	(一社)粉体工学会
第21回技術講演会	2024.7.30 ～7.31	京都/国立京都国際会館	新製剤技術とエンジニアリングを考える会
粒子・流体プロセス技術コース2024	2024.8 ～2025.2	九州工業大学、新潟大学、群馬大学	化学工学会粒子・流体プロセス部会流動層分科会
IFPEX2024(第27回フルードパワー国際見本市)	2024.9.18 ～9.20	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本フルードパワー工業会/(株)産経新聞社
INTERMEASURE2024	2024.9.18 ～9.20	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本計量機器工業連合会
2024年粉末冶金国際会議	2024.10.13 ～10.17	横浜/パシフィコ横浜	日本粉末冶金工業会 (一社)粉体粉末冶金協会
XVII ICESP JAPAN	2024.10.28 ～10.31	京都/京都テルサ	第17回国際電気集じん会議実行委員会/(一社)静電気学会

9. 刊行物

- 9.1 「粉体技術」
編集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会
発行 (一社)日本粉体工業技術協会
月刊誌 (1,500円・税別) (A4版 約100ページ 約1,500部/月)
- 9.2 日本粉体工業技術協会 事業案内(和文 2024年度版) A4版 16ページ
編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行:2024年8月頃(400部)
- 9.3 日本粉体工業技術協会 事業案内(英文 2024-2025年度版) A4版 12ページ
編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行:2024年8月頃(100部)
- 9.4 粉体技術総覧 2024/2025 A4版 約300ページ
編集/発行所:一般社団法人日本粉体工業技術協会
発行予定数:2024年11月(誌本 14,000部)
- 9.5 日本粉体工業技術協会開催の各種セミナー・講習会と教育部門の講座用テキスト
編集/発行所(一社)日本粉体工業技術協会 教育部門他
発行:各20~100部